

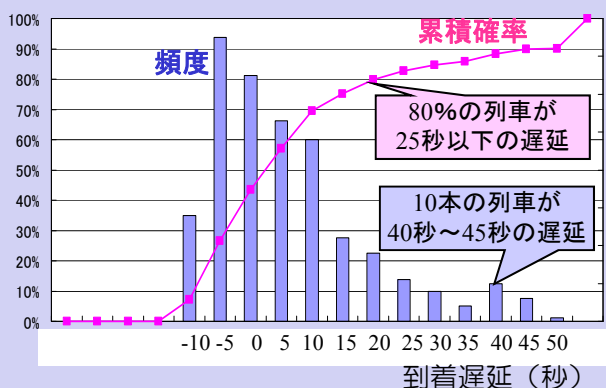
# 実績ダイヤデータ分析システム@Plan

運転システム

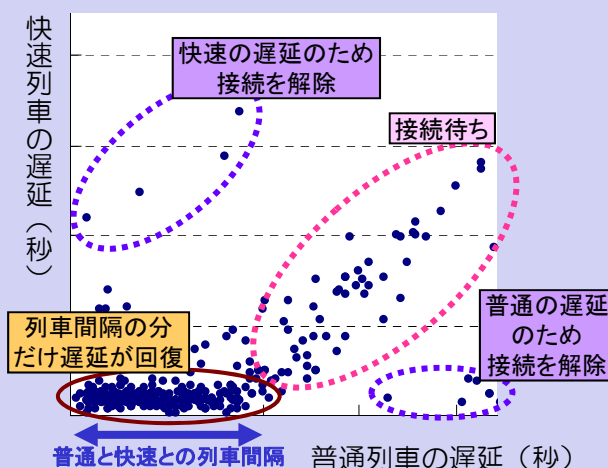
- 概要**

列車の運行実態を把握するためには、日々変化する運行実績を用いた統計的な分析が重要となります。近年、自動進路制御装置(PRC: Programmed Route Control)が多くの線区で導入され、運行実績が電子データとして蓄積可能となりました。そこでPRCの実績ダイヤデータを用いて列車の運行実態を分析するシステム「@Plan(A Prc Log Analyzer エープラン)」を開発しました。
- 用途**
  - ◆ 次期ダイヤ改正における検討箇所の洗い出し、ダイヤ改正後の効果検証など、輸送計画担当者の業務を支援します。
- 特徴**
  - ◆ 複数日の実績ダイヤデータを統計的に分析します。
  - ◆ 列車の遅延の大きさ、駅間運転時分、停車時分、折返し時分、2つの事象の相互関係などの複数の分析機能があります。
  - ◆ 天候、曜日、時間帯、列車種別など、分析対象を指定できるオプションがあります。
  - ◆ GUI上での簡単な操作で分析ができます。
  - ◆ 分析結果をグラフで視覚的に確認できます。

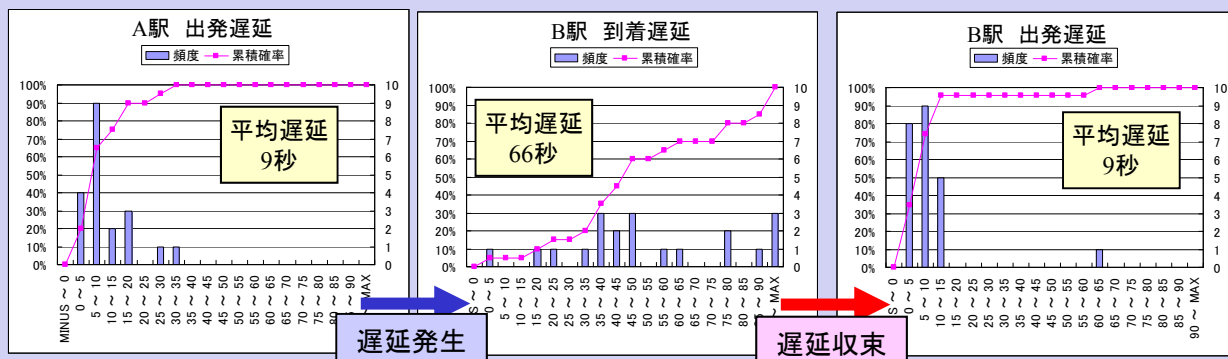
ある駅での到着遅延



普通列車(先着)と快速列車(後着)が接続する駅での接続列車の遅延の相関



分析例：対象列車の運行状況



- 列車、駅等を指定することによって、該当する列車の着遅延、発遅延の状況を頻度グラフとして出力します。
- 遅延の発生状況と収束状況を確認することができます。

【関連項目】 ◆ 輸送実績データの分析・評価 [評価・開発支援⑪](p.11)